

厚生労働省沖縄労働局発表  
令和4年(2022年)7月29日(金)

|        |        |              |
|--------|--------|--------------|
| 担<br>当 | 職業安定部  | 職業安定課        |
|        | 長      | 高崎 美奈子       |
|        | 職業安定課長 | 渡真利 直人       |
| 電      | 話      | 098(868)1655 |

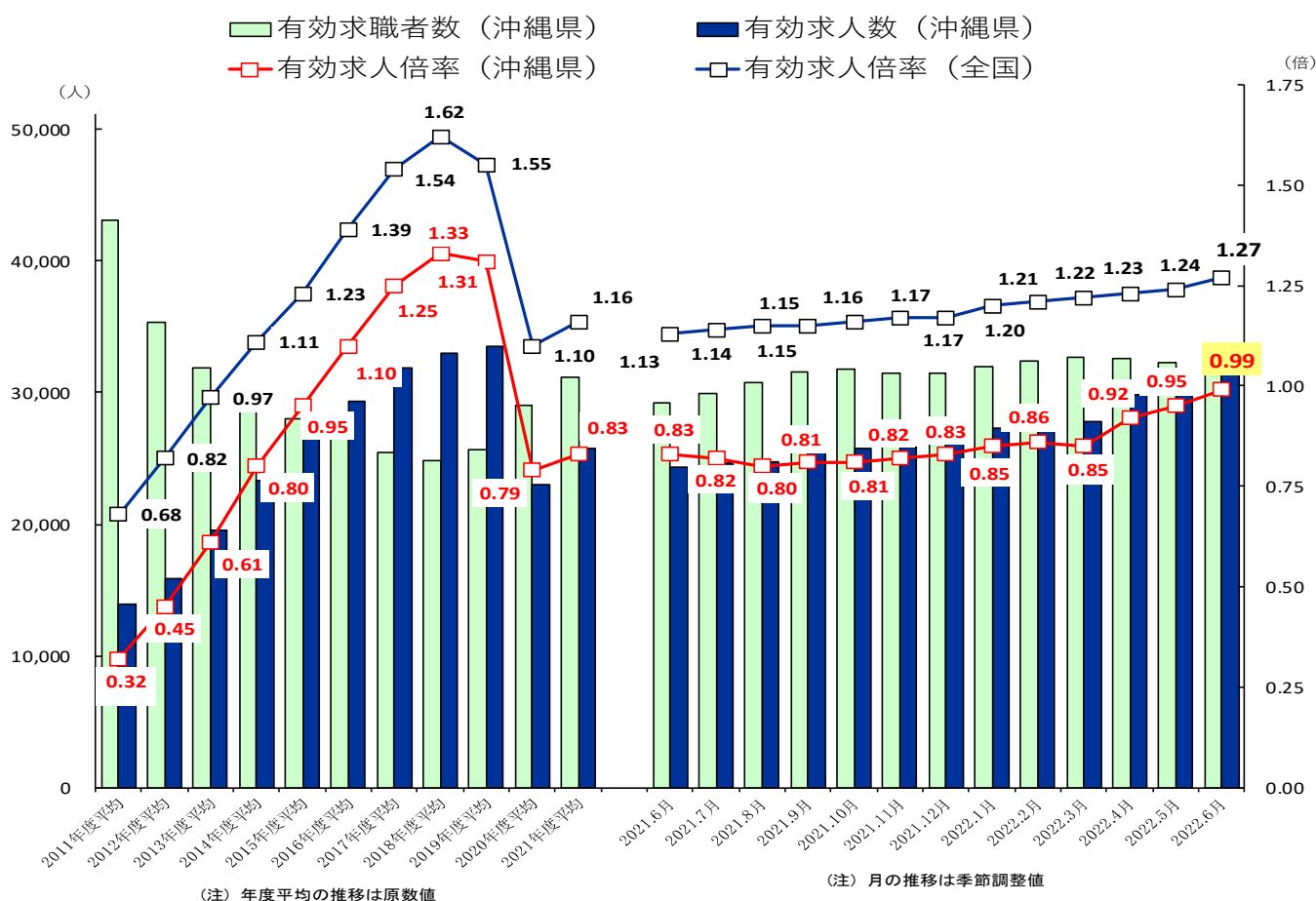
## 「労働市場の動き」令和4(2022)年6月

沖縄の雇用情勢は、求職の超過が続いており、厳しい状況にあるが、求人は改善傾向がみられる。  
新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に注意する必要がある。

### 【就業地別】

- 有効求人倍率(季節調整値)は0.99倍で、前月より0.04ポイント上昇。
- 新規求人倍率(季節調整値)は1.83倍で、前月より0.14ポイント低下。
- 正社員有効求人倍率(原数値)は0.56倍で、前年同月より0.08ポイント上昇。

【第1表】 求人、求職及び有効求人倍率の推移



(注) ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で「求職者マイページ」を開設した求職者数や、ハローワークインターネットサービスで探した求人に直接応募する「オンライン自主応募」による就職件数等が含まれている。

## 1. 有効求人倍率・新規求人倍率の動き【就業地別】

### (1) 有効求人倍率

有効求人倍率(季節調整値)は0.99倍で、前月より0.04ポイント上昇。

①月間有効求人数(季節調整値)は32,013人で、前月比4.8%増(1,464人増)となった。

②月間有効求職者数(季節調整値)は32,185人で、前月比0.2%減(59人減)となった。

③正社員の有効求人倍率(原数値)は0.56倍と前年同月より0.08ポイント上昇となった。

※有効求人倍率等の推移に関するグラフは1ページ(第1表)に掲載しております。

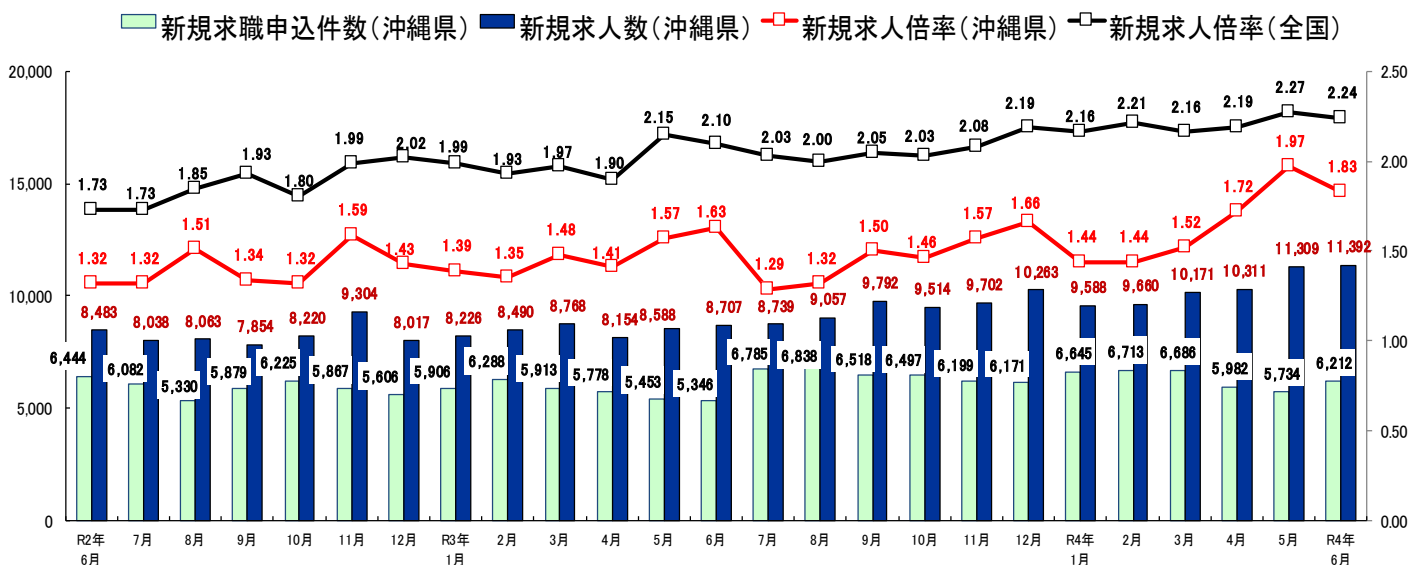
### (2) 新規求人倍率

新規求人倍率(季節調整値)は1.83倍で、前月より0.14ポイント低下。

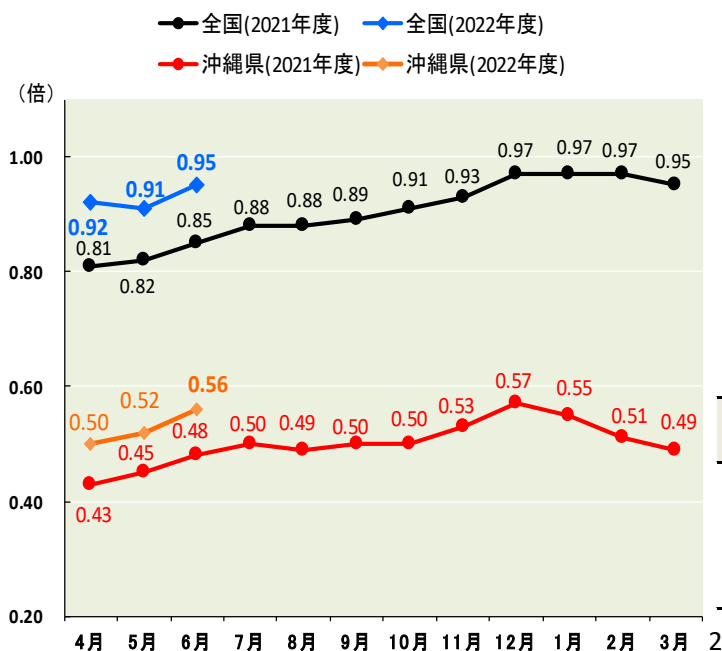
①新規求人数(季節調整値)は11,392人で、前月比0.7%増(83人増)となった。

②新規求職申込件数(季節調整値)は6,212件で、前月比8.3%増(478件増)となった。

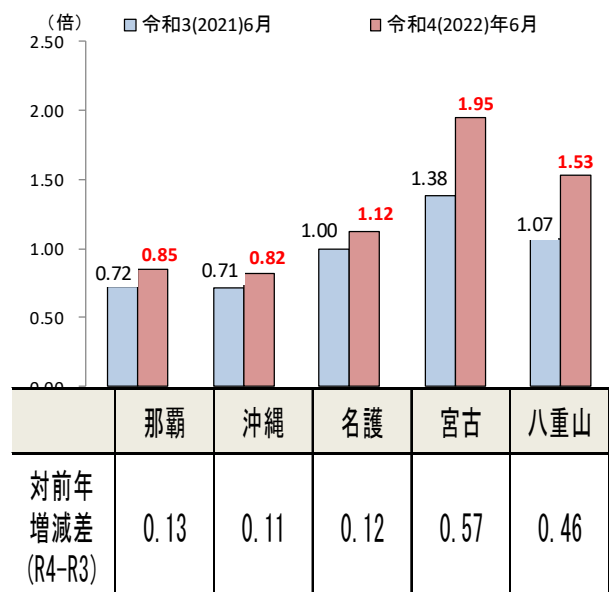
【第2表】新規求人倍率の推移(季節調整値)



【第3表】正社員有効求人倍率の推移(原数値)



【第4表】ハローワーク別有効求人倍率(全数・原数値)



2. 求人の動き【就業地別】

(1) 月間有効求人数について

月間有効求人数(原数値)は29,353人で、前年同月比30.4%増(6,850人増)と14か月連続の増となった。うち常用求人(雇用期間が4か月以上の求人)は25,806人で、前年同月比27.0%増(5,492人増)となった。

(2) 新規求人数について

新規求人数(原数値)は11,131人で、前年同月比33.0%増(2,763人増)と15か月連続の増加となった。うち常用求人は9,716人で30.5%増(2,273人増)となった。  
主要産業別に前年同月比でみると、増加率が大きい順に、宿泊業・飲食サービス業の84.6%増、サービス業(他に分類されないもの)の76.1%増、卸売業・小売業の68.0%増、生活関連サービス業・娯楽業の43.6%増となった。  
一方、減少率が大きいものは、建設業の1.5%減となった。

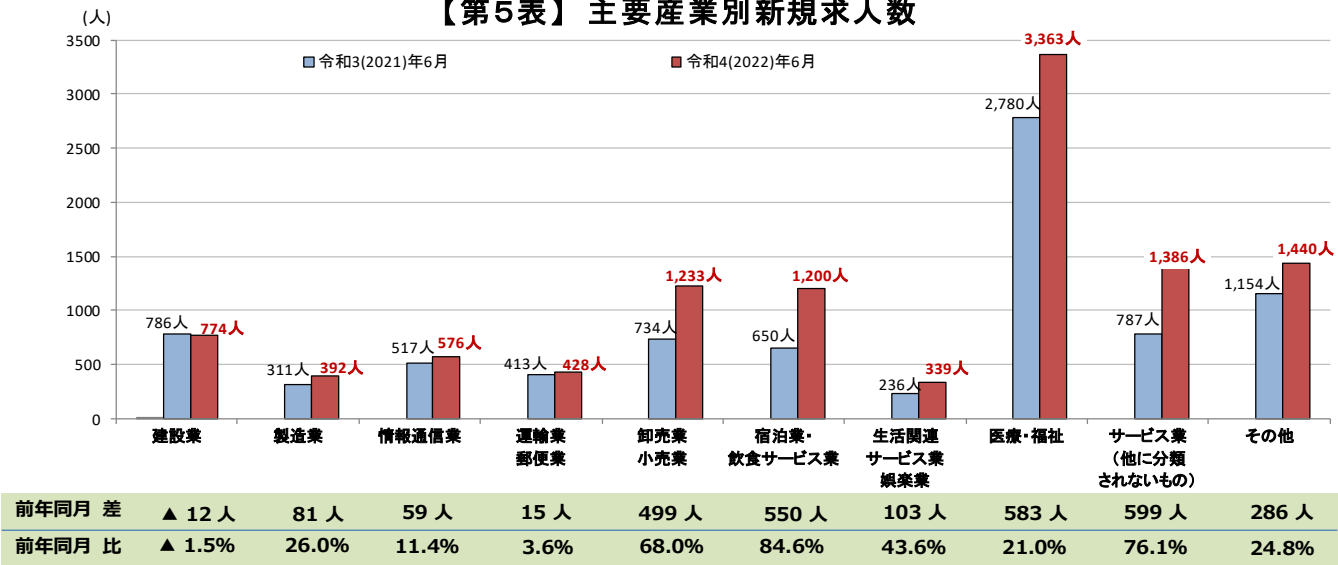
(3) 正社員求人数について

正社員新規求人数は3,993人で、前年同月比22.9%増(743人増)と15か月連続の増加となった。新規求人数に占める正社員求人の割合は35.9%で、前年同月比で2.9ポイント下回った。正社員有効求人数は10,808人で、前年同月比23.6%増(2,061人増)と14か月連続の増加であった。

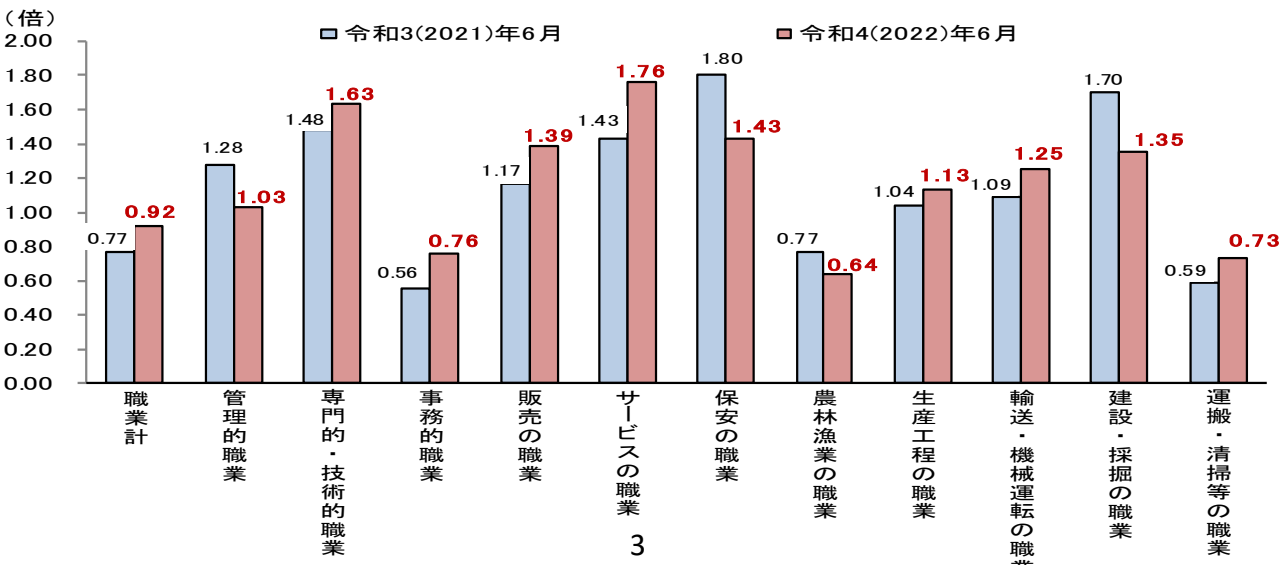
(4) パートタイム求人について

新規求人数(原数値)は4,144人で、前年同月比58.4%増(1,528人増)となり、月間有効求人数は10,482人で、前年同月比43.9%増(3,199人増)となった。

【第5表】 主要産業別新規求人数



【第6表】 職業別有効求人倍率(原数値)



### 3. 求職の動き

#### (1) 月間有効求職者の状況

月間有効求職者数(原数値)は31,982人で前年同月比9.4%増(2,758人増)と42か月連続の増加となった。そのうち常用(雇用期間が4か月以上の職業紹介を希望する者)は31,723人で、前年同月比9.2%増(2,664人増)と41か月連続の増加となった。また、臨時・季節を希望する求職者は259人で、前年同月比57.0%増(94人増)となった。

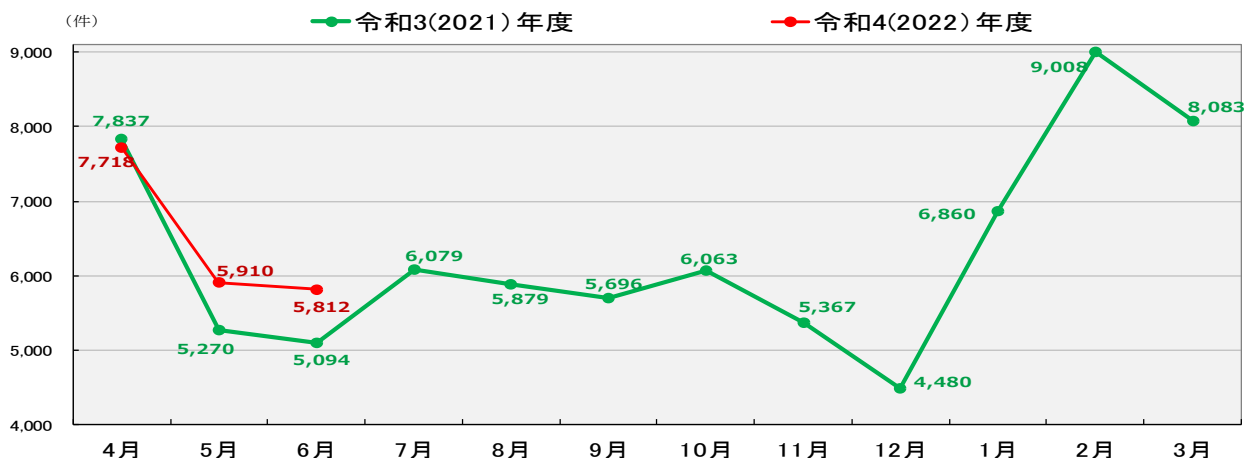
#### (2) 新規求職申込みの状況

新規求職申込件数(原数値)は5,812件で、前年同月比14.1%増(718件増)と2か月連続の増加となった。うち常用は5,769件で、前年同月比14.0%増(709件増)と2か月連続の増加となった。また、臨時・季節は43件で、前年同月比26.5%増(9件増)となった。

#### (3) 雇用保険受給者の状況

雇用保険受給者実人員は6,321人で、前年同月比8.8%減(609人減)となった。

【第7表】 新規求職申込件数



【第8表】 新規求職者申込件数の状況について

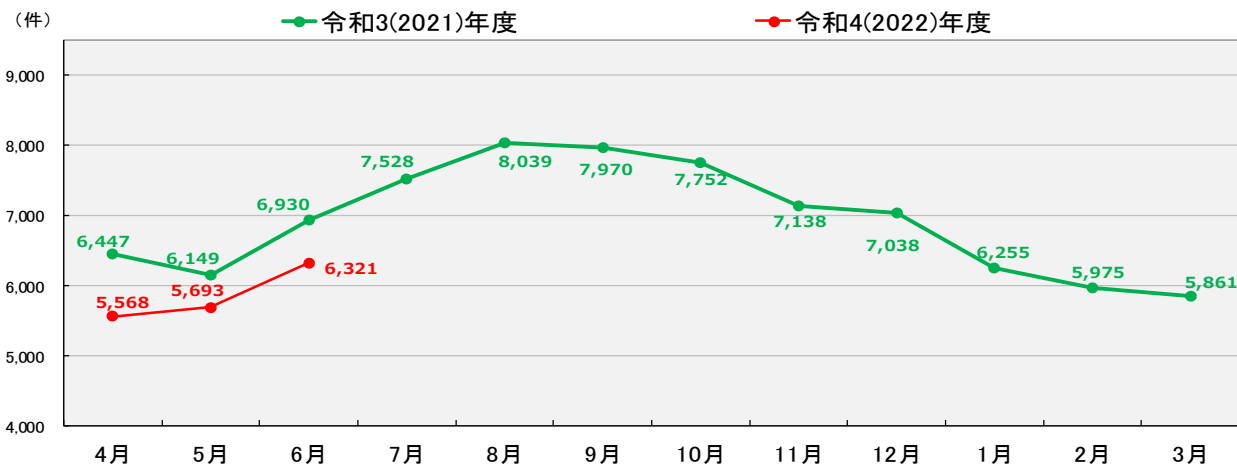
(単位:件,%)

（単位：件、％）

|              | 新規求職申<br>込件数 | 前年同月比  | 就業・不就業の状態別 |      |         |        |        |        |       |        | 無業者 |        |
|--------------|--------------|--------|------------|------|---------|--------|--------|--------|-------|--------|-----|--------|
|              |              |        | 在職者        | 離職者  | うち事業主都合 |        | うち自己都合 |        | 前年同月比 |        |     |        |
|              |              |        |            |      | 前年同月比   | 前年同月比  | 前年同月比  | 前年同月比  |       |        |     |        |
|              |              |        |            |      |         |        |        |        |       |        |     |        |
| 令和3(2021)年6月 | 5,094        | ▲ 17.2 | 1,226      | 8.2  | 3,339   | ▲ 22.7 | 901    | ▲ 43.1 | 2,256 | ▲ 11.3 | 426 | ▲ 21.1 |
| 令和4(2022)年6月 | 5,812        | 14.1   | 1,489      | 21.5 | 3,755   | 12.5   | 963    | 6.9    | 2,569 | 13.9   | 568 | 33.3   |

新担学卒を除き パートを含む。(原数値)

【第9表】 雇用保険受給者実人員



## 4. 就職の動き

### (1) 就職件数について

就職件数は、1,607件(常用及び臨時・季節を合わせた総数)で、前年同月比1.5%増(24件増)と2か月連続の増加となった。

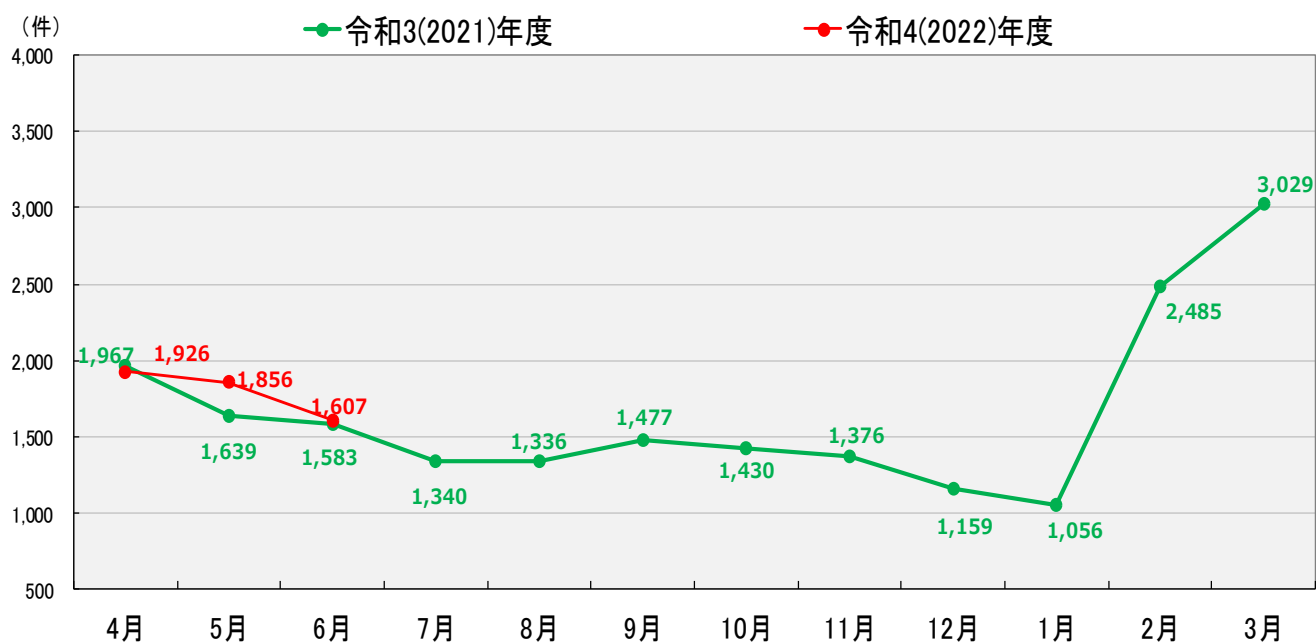
### (2) 県内就職について

県内就職は1,493件(就職件数全体に占める割合:92.9%)で、前年同月比0.1%減(1件減)と2か月ぶりの減少となった。

### (3) 県外就職について

県外就職は114件(就職件数全体に占める割合:7.1%)で、前年同月比28.1%増(25件増)と2か月連続の増加となった。

【第10表】 就職件数の推移



## 【参考】有効求人倍率・新規求人倍率の受理地別の数値について

### (1) 有効求人倍率【受理地別】について

- ① 有効求人倍率(季節調整値)は0.90倍で、前月より0.04ポイント上昇。
- ② 月間有効求人数(季節調整値)は29,047人で、前月比5.0%増(1,395人増)。
- ③ 正社員の有効求人倍率(原数値)は0.50倍で、前年同月より0.07ポイント上昇。

### (2) 新規求人倍率【受理地別】について

- ① 新規求人倍率(季節調整値)は1.66倍で、前月より0.12ポイント低下。
- ② 新規求人数(季節調整値)は10,327人で、前月比1.2%増(122人増)。

沖縄労働局では、有効求人倍率、月間有効求人数、新規求人倍率、新規求人数について、就業地別の数値で雇用情勢の説明を行っております。

就業地別と受理地別の違いは次のとおりです。

- ・就業地別：求人票に記載された就業場所をもとに、実際に就業する都道府県別に有効求人数(新規求人数)を集計して算出したもの。
- ・受理地別：求人を受理したハローワークが所在する都道府県別に有効求人(新規求人数)を集計して算出したもの。

なお、月間有効求職者数及び新規求職申込件数では、受理地別・就業地別の区分は行っておりません。これらの数値については、沖縄県内のハローワークにおいて、新規に受理された求職申込件数(新規求職申込件数)および有効中の求職者数(月間有効求職者数)を発表しております。

## ○本発表に関連するデータは、沖縄労働局ホームページでご覧になれます○

### 【掲載先】

沖縄労働局ホーム>統計情報>求人求職・労働市場の動き>統計情報>労働市場の動き

### 【URL】

[https://jsite.mhlw.go.jp/okinawa-roudoukyoku/jirei\\_toukei/kyujin\\_kyushoku/toukei/koyounougoki.html](https://jsite.mhlw.go.jp/okinawa-roudoukyoku/jirei_toukei/kyujin_kyushoku/toukei/koyounougoki.html)



## ○政府統計ポータルサイト「e-Stat」のご案内○

求人数、求職者数など一般職業紹介状況の全国及び都道府県ごとのデータは、政府統計ポータルサイトe-Statにて提供しております。

### 【URL】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450222&tstat=000001020327>

